

ふくしの ひろば



「子ども安全マップ」

.....5

第164号

平成21年9月1日発行

2009サマーボランティア体験月間「子ども安全マップ作り」於 出水市

地域福祉部情報

「地域活動」助成事業募集..... 2

地域福祉第一線

加治木たすけあい実行委員会..... 3

利用支援センター情報

福祉サービス運営適正化委員会..... 4

福祉人材・研修情報

福祉・介護人材就労マッチング事業..... 6

福祉人材・研修情報

福祉職場就職支援講座のご案内..... 7

明るい長寿社会づくり情報

元気高齢者チャレンジ推進事業外..... 8

なのはな館からのお知らせ..... 9

介護実習・普及センター情報

施設福祉部情報

九州地区児童福祉施設球技大会..... 10

県共同募金会からのお知らせ

赤い羽根共同募金運動が始まります..... 11

インフォメーション..... 12

平成22年度

独立行政法人福祉医療機構

高齢者・障害者福祉基金

子育て支援基金

障害者スポーツ支援基金

お知らせ「地域活動」助成事業募集

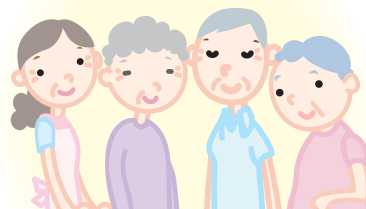
県社会福祉協議会が推薦事務を担当している「福祉医療機構」の平成22年度「地域活動」助成事業（高齢者・障害者福祉基金、子育て支援基金、障害者スポーツ支援基金）募集のお知らせです。

※名称が「地方分」助成事業から「地域活動」助成事業に変わりました。

助成対象団体は、**公益法人・社会福祉法人・NPO法人・法人格のない任意に設立された団体**です。
助成対象事業は、Ⅰ～Ⅲの基金を活用した事業のほか、過去の優れた事業の普及を行うため、Ⅳのモデル助成事業も予定しています。

Ⅰ 高齢者・障害者福祉基金

- ①地域の福祉・介護のネットワークの形成
- ②緊急に充実を図る必要のある高齢者、障害者在宅福祉の推進
- ③高齢者、障害者の社会参加の促進
- ④民間非営利団体等による地域の福祉・介護活動

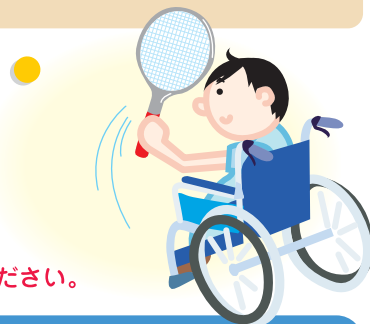


Ⅱ 子育て支援基金

- ①地域や家庭における子育て支援
- ②青少年の非行防止・健全育成
- ③児童虐待防止対策など要保護児童対策等
- ④ひとり親家庭等自立支援

Ⅲ 障害者スポーツ支援基金

- ①障害者スポーツの育成・強化
- ②障害者の競技スポーツに係る競技用具の研究開発・改良等
- ③障害者スポーツに対する意識高揚
- ④地域におけるスポーツを通じた障害者の社会参加の推進



※重点助成分野も設定しておりますので、詳細はお問い合わせください。



Ⅳ 地域活動助成モデル事業

過去に助成した優れた事業を、モデル事業として全国に普及させる事業

高齢・障害 テーマ①より・団塊世代等による孤立した高齢者への支援事業

子育て テーマ①より・父親の子育て活動支援促進事業

助成金額

1事業 上限200万円

助成対象事業の実施期間

平成22年4月1日から平成23年3月31日

※ただし、Ⅰ～Ⅲのうち実施に2か年を要する事業、または、事業を2か年継続することで効果や成果が発揮される事業については、各年度200万円（合計400万円）を限度として助成します。

募集期間

平成21年9月1日～10月31日（消印有効）

募集要領掲載

鹿児島県社会福祉協議会HP

HPアドレス <http://www.kaken-shakyo.jp/j/j-3.html>

お問い合わせ先

鹿児島県社会福祉協議会 **地域福祉部**
(県社会福祉センター内)

TEL 099-257-3855
FAX 099-251-6779

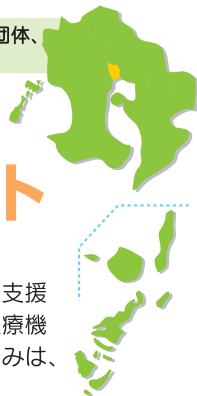


「地域福祉第一線」では、さまざまな地域福祉活動に先駆的に取り組む市町村社協や団体、または人物などを取り上げ、その活動を紹介します。

わたしたちの“まちづくり” 住民参画による地域支援ネット

～加治木町萩原地区 加治木たすけあい実行委員会～

小規模通所介護事業所が発起した、住民の共生・協働による住民参加型支援ネット『加治木たすけあい実行委員会』一平成20年度独立行政法人福祉医療機構「長寿・子育て・障害者基金」の助成を活用して実施されたこの取り組みは、誰もが最期まで安心して暮らせる地域づくりの第一歩となりました。



地域づくりへのアプローチ

加治木町立柁城小学校近くの萩原地区は、歴史ある元城下町の閑静な住宅街です。認知症の高齢者が集う小規模通所介護事業所『共生ホームよかあんべ』は、この地に2年前開所しました。代表の黒岩尚文さんは、「高齢者が在宅で暮らし続けていくためには、地域の人と人とのつながりや支え合いなどが不可欠。地域が本来持っている力を見直すきっかけになれば」と助成事業を申請しました。そして地域住民や関係者へ理解を呼びかけて、住民が中心となり事業所・行政・社協等と協働して地域づくりを考える『加治木たすけあい実行委員会』の取り組みがはじまりました。はじめは委員会の中でも「なぜ介護保険の一民間業者が地域づくりを？」と不信がられたりしましたが、話し合いや、住民による地域づくりの先進地視察を通して、自分たちの暮らしは行政や制度ばかりに頼るのではなく、自分たちで考えよう、という思いが委員会の中で高まっていきました。



加治木たすけあい実行委員会

構成 行政、地域包括支援センター、社協、自治会、長寿会、民生委員、他
事務局 共生ホームよかあんべ
委員長 加治木町在住の 鹿兒島女子短期大学久永繁夫教授

平成20年度（活動の経緯）

- 6月 準備会の開催
近隣の方々へのアンケート実施
- 7月 第1回委員会
- 8月 健康づくり講座の開催
第2回委員会
- 9月 熊本県山鹿市視察
第3回委員会
- 10月 萩原地区長寿会の方々との
福祉マップづくり
- 12月 第4回委員会開催
認知症サポーター養成講座
- 2月 萩原地区長寿会研修会
- 3月 第5回委員会
「地域づくりセミナー」の開催

人と人をつなぐ「私の○○マップ」

具体的な取り組みとして実施したのが、福祉マップづくりです。認知症の人が地域の中で暮らし続けるためには、地域資源（人・場所・付き合い）を活かし、つないでいくことが必要とされています。地域の現状を把握するため、萩原地区長寿会のみなさんと、『いまある地域資源』と『あったら助かる地域資源』を考える地域の福祉マップづくりに取り組みました。さらに地域を取材・調査し、住民の視点による福祉マップを作成。萩原地区全戸に配布されました。作成されたマップは「私の○○マップ」としてその人に必要な情報を書き込みできるようになっており、ゴミ収集所や病院、避難所等のほか、『地域の応援団』として、認知症サポーターや在宅福祉アドバイザー、地域の役員の住んでいる場所が、わかりやすくハートマークで表されています。



「地域の応援団」



誰もが安心して暮らし続けられる地域づくり

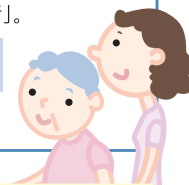
活動の報告と啓発のために今年3月には『地域づくりセミナー』が開催されました。パネリストとして参加した町長からは、町も『地域の応援団』の養成を積極的に取り組みたいとの発言があり、その後7月には町主催の認知症サポーター養成講座が実施されました。「この取り組みによって、いろいろな立場の方が『誰もが最期まで安心して暮らせる地域』について主体的に考えてくれるようになったのが、大きな成果だった。」と事業を振り返る黒岩さん。「福祉マップづくりはあくまでもプロセス。これで終わりではなく福祉マップの活用や『地域の応援団』を増やしていくことで、人と人が紡ぎあい助け合える地域づくりをすすめていきたい。」誰もが安心して暮らせる地域づくりへの取り組みは、今はじまったばかりです。

認知症サポーターとは

認知症サポーター100万人キャラバンにおける「認知症サポーター養成講座」を受講した者で、認知症について正しく理解し、認知症の人や家族を温かく見守り、暮らしやすい地域をつくっていく認知症の人への「応援者」。

平成21年5月末現在
全国のサポーター数

1,004,491名



福祉サービス運営適正化委員会

福祉サービスに関する苦情等の受付状況

運営適正化委員会は、社会福祉法第83条に基づき、平成12年度から鹿児島県社会福祉協議会に設置されている福祉サービスの苦情相談窓口です。

これまで、運営適正化委員会に寄せられた苦情等の受付件数は、表1のとおりで、延べ221件の苦情が寄せられています。その中でも、高齢者分野と障害者分野が大半を占めています。

また、表3は、苦情の内容を分類したのですが、「職員の接遇」や「サービスの質や量」に関することが全体の49%、108件となっています。

苦情の申出については、事業者段階で申出人、苦情受付担当者、苦情解決責任者、また必要があれば公正・中立な立場の第三者委員も一緒に話し合いによる解決を図ることが第一義です。それでも解決しない場合や事業者に直接言いにくい時に、運営適正化委員会へ相談いただくことになっています。お気軽にお問い合わせください。

表1 苦情等の受付件数(年度別)

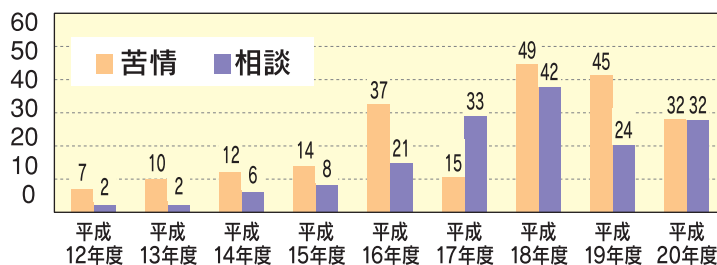


表2 福祉サービスの種類

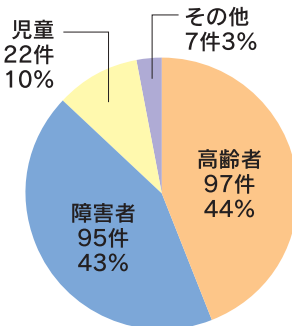
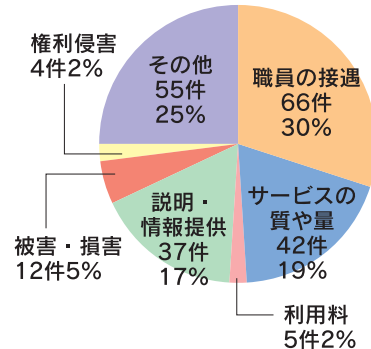


表3 苦情の内容



福祉サービスに関する

相談・苦情解決事業研修会の案内

- 日時 平成21年10月14日(水) 13:00～16:20
- 場所 かごしま県民交流センター1階県民ホール
- 定員 600名(要申込)
- 参加費 2,000円
- 対象者 福祉サービス事業所の苦情担当者 等

- 内容
- 事例発表 「企業における苦情受付から解決までとその後の展開について」
イオン九州(株) CS推進GM 齋藤 哲氏
- トークセッション 「苦情対応に求められる事業所のあり方」
苦情解決委員会 委員長 久永 繁夫氏
イオン九州(株) CS推進GM 齋藤 哲氏

詳細は、ホームページをご覧ください ▶ <http://www.kaken-shakyo.jp/index.html>

相談時間

月～金曜日 9:00～16:00
(ただし、祝日・12/29～1/3を除く)

相談方法

電話・来所・FAX・Eメール

福祉サービス運営適正化委員会

【事務局：鹿児島県社会福祉協議会 利用支援センター】 県社会福祉センター5階

TEL 099-286-2200

FAX 099-257-5707

E-mail tekisei@kaken-shakyo.jp



NPO法人が安全・安心のまちづくりを提案

出水市

「子ども安全マップ」

～2009年サマーボランティア体験月間～



鹿児島県社会福祉協議会及び市町村社会福祉協議会は、7月から8月を「サマーボランティア体験月間」と定め、ボランティア活動の普及・啓発に努めてまいりました。出水市では、特定非営利活動法人（NPO法人）「さわやか出水女性の集い」（出水市上大川内）が、7月24日（金）、荘中学校地区クラブハウスで、出水市社会福祉協議会や荘小学校、荘中学校、自治会、高齢者クラブと協働で、荘校区の「子ども安全マップ」作りを開催しました。当日は、児童生徒を中心に関係者47人が参加し、通学路及び地域の川や側溝、崖などの危険箇所を調査し「子ども安全マップ」作りに挑戦しました。

■「子ども安全マップ」

出水市社会福祉協議会の職員がグループ毎に広幅用紙の地図を準備し、危険箇所などの写真を使って街を歩くときの注意や危険箇所の確認、安全マップの作り方や利用について説明がありました。



NPO法人の役員

■高齢者の案内で街歩き

当日は晴天に恵まれ、荘地区の高齢者の皆さんの案内で4グループに分かれて調査しました。道路の幅員の測定や危険箇所の確認、防火防犯の看板や設置箇所の確認などを調査し、自分たちの住んでいる地域の安全を再確認する機会となりました。荘上グループの班長で、荘小学校6年竹内陸君は、「自分たちの地域は安全で安心していましたが、巡回しながら高齢者の話を聞いたり、調査したら危ない所がありました。今後は、みんなで気をつけて頑張りたい。」と話してくれました。



道路の幅員の測定

■安全マップの全戸配布

NPO法人の理事長矢野ミツさんは、今回の取り組みについて「社会福祉協議会と学校、自治会や高齢者の皆さんと地域や子どもの安全・安心について共通理解を図ることができて感謝しております。『子ども安全マップ』は荘校区全戸に配布する計画で、このような取り組みを出水地区に広げたい。」と新たな事業展開を計画中です。



消火栓の確認

連絡先及び
お問い合わせ先

出水市社会福祉協議会

〒899-0214 出水市平和町97番地
TEL 0996-63-2140 FAX 0996-63-8088

特定非営利活動法人 「さわやか出水女性の集い」

〒899-0341 出水市上大川内31-3
TEL&FAX 0996-63-2959



写真や付箋紙の貼り付け

福祉・介護人材 マッチング支援事業

start
スタート

鹿児島県社会福祉協議会では、新たに「福祉・介護人材マッチング支援事業」を平成21年度～23年度に取り組みます。

福祉・介護 マッチング 支援事業 とは

福祉・介護人材の円滑な就労・定着を図るため、「キャリア支援専門員」の設置やアドバイザーの派遣などにより、個々の求職者にふさわしい職場開拓や職場環境の改善、従事者のキャリアアップによる就労意欲の向上等を支援するものです。



キャリア支援 専門員は

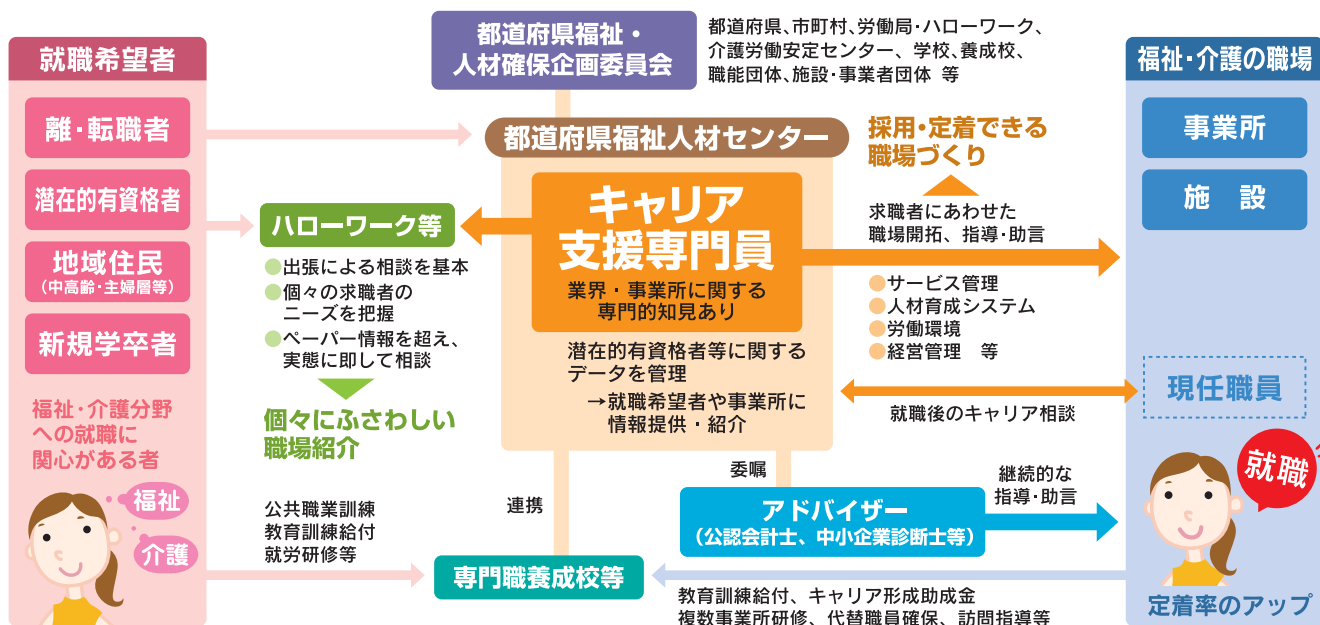
1. 求職者のニーズに合わせた職場開拓を行います。
2. 個々の求職者にふさわしい職場を紹介します。
3. 採用・定着できる職場づくりの指導・助言、キャリアアップ支援を行います。

アドバイザー の派遣とは

公認会計士や中小企業診断士等を県社協がアドバイザーとして委嘱し、施設・事業所の要望等に応じアドバイザーを派遣することにより、会計や経営管理等専門的な指導・助言等を行うものです。

県社協では

1. 「キャリア支援専門員」として、新たに6人雇用し、県社協人材センターに3人、北薩（出水市社協）・大隅（鹿屋市社協）・奄美（奄美市社協）に各1人ずつ配置します。
2. 継続的な指導・助言を行うためのアドバイザーを委嘱し、施設・事業所に派遣します。



お問い合わせ先

社会福祉法人鹿児島県社会福祉協議会
福祉人材・研修センター (県社会福祉センター6階)

TEL 099-258-7888

ソウェルクラブ会員交流事業

満喫した「ライオンキング」観劇

ソウェルクラブ（福利厚生センター）鹿児島事務局では、観劇やコンサート、ゴルフ大会、テーブルマナー教室など多様な会員交流事業を行っています。会員の方々には割安な料金で多数ご参加いただき、大変好評を得ています。

今年度第1回の会員交流事業は、昨年までのプロ野球観戦に代えて、劇団四季の「ライオンキング観劇とショッピングの旅」を去る7月25日～26日に実施し、58人が参加されました。当日は北部九州は大雨で天候が心配されましたが、無事に福岡に着くことができ、ライオンキングを観た後、多くの方が福岡の街にショッピングや食事に行かれたようでした。翌日は佐賀県唐津市の宝当神社の参拝、雨模様で風も強く島に渡れるか心配しましたが、無事渡ることができました。宝当神社は、宝くじが良く当たると評判の神社？とあって、皆さんぜひ行ってみたいかったようでした。大雨にたたられた1泊2日の旅でしたが、参加された皆さんから寄せられた声の一部を紹介します。



宝当神社

参加者の声

Aさん（50代：女性）

ライオンキングはとても感動すると聞いていたが、舞台装置も出演者もとてもすばらしかった。宝当神社で宝くじが当選することを祈りつつ、雨であったことが逆に心に残ると思いました。

Bさん（60歳以上：女性）

以前からライオンキングを観たいと思っていて、今回チャンスに恵まれ、生の舞台を観ることができて感動しました。

Dさん（20代：女性）

夫と2人ということがなかなかできない中（子どもは気になりながらも）とても格安でライオンキングも観れて楽しい旅でした。

Fさん（30代：女性）

子どもと参加しましたが、大人も子どもも楽しむことができたライオンキング観劇は最高でした。

Cさん（50代：男性）

雨中での旅であったが、とてもゆったりと楽しく過ごすことができた。

Eさん（50代：女性）

初めて参加しましたが、ライオンキング観劇と宝当神社参拝（当たれば最高）と楽しませていただきました。

Gさん（30代：男性）

ライオンキングは最高でした。宝当神社にはぜひ行ってみたいだったので良かった。（宝くじが当たりますように）

福祉職場就職支援講座のご案内

福祉職場に就職・復職を希望する方を対象に、福祉についての理解を深めていただくとともに、福祉現場で働くために必要な知識や技術及び就職活動の方法等を学ぶための講座を開催します。

日時 平成21年
11月14日～28日の毎週土曜日(全4回)
午後1:15～4:30

会場 かごしま県民交流センター 研修室

対象者 福祉職場に就職・復職を希望する一般の方及び学生

定員 40人 **受講料** 無料

講座内容

- ① 福祉の基礎知識について
- ② 看護・介護の基礎知識
- ③ 介護の方法と体験（演習）
- ④ 福祉職場就職活動の方法と心構え

※講座内容は予定のため、内容を変更する場合があります。

お問い合わせ先

鹿児島県社会福祉協議会 福祉人材・研修センター
(県社会福祉センター6階)

TEL 099-258-7888 FAX 099-250-9363

第18回 「シルバー文化作品展」 始まります

高齢者（60歳以上）の趣味活動や文化創作意欲を高めることにより、心身ともにすこやかなゆとりある生きがいづくりに役立つことを目的とした「シルバー文化作品展」が開催されます。今年で18回目になります。出品された作品は力作揃いで、全て展示されますので、ぜひ、ご家族揃ってお出かけください。

作品 日本画・洋画・書・工芸・写真・彫刻

表彰

期間 平成21年9月9日(水)～13日(日)まで
 9日 9:30～17:00
 10日～12日 9:00～17:00
 13日 9:00～14:00

- 鹿児島県知事賞
- 特別賞 寺園勝志賞
- 鹿児島県社会福祉協議会会長賞(各部門ごと)
- ねんりんピック鹿児島メモリアル賞
- 審査委員長賞
- 入賞(各部門ごと金賞・銀賞・銅賞・奨励賞)
- 高齢者賞(各部門ごと)

会場 鹿児島県歴史資料センター黎明館
 (第1・2・3特別展示室)

観覧料 無 料



お問い合わせ先

鹿児島県社会福祉協議会 長寿社会推進センター 県社会福祉センター5階
TEL 099-250-7441 FAX 099-250-7443 E-mail sukosen@kaken-shakyo.jp

平成21年度 元気高齢者チャレンジ 推進事業

『高齢者を中心とした地域貢献活動団体 表彰式・事例発表会』を開催します

県では、高齢者が中心になって地域のさまざまな分野で、地域に貢献する活動を行っている団体を県下全域から募集しました。(6/1～7/31)

本会では、県内の7地域から代表として選ばれた7団体の表彰式と、それぞれの方々の活動内容の事例発表会を開催しますので、皆様のご来場をお待ちしております。

会場 平成21年11月10日(火)
午後1時30分～

場所 かごしま県民交流センター
県民ホール

お問い合わせ先 上記「シルバー文化作品展」と同じ

おもちゃドクター養成講座を開催します

長寿社会推進センターでは、(財)長寿社会開発センターの助成事業として、「おもちゃドクター養成講座」を出水市、奄美市、指宿市の3ヶ所で開催します。

この講座は、子どもたちに「もの」の大切さを伝えるために、おもちゃの仕組みを教えたり、壊れたおもちゃの修理をする「おもちゃのお医者さん」を養成するための講座です。おもちゃに関心があり、おもちゃドクターとなって自分の持っている技術や経験を活かしたい方は是非ご参加ください。

期日・会場

平成21年10月10日(土)～11日(日) 出水市社会福祉会館
 平成21年10月24日(土)～25日(日) 奄美市社会福祉センター
 平成21年11月21日(土)～22日(日) ふれあいプラザ なのはな館(指宿市)

定員 各会場 20人

受講料 2,000円(テキスト代等)

講師 日本おもちゃ病院協会 会長 嶋田弘史氏 他

参加申込 開催市社会福祉協議会に直接お申し込みください

対象者

概ね50歳以上のシニアで、おもちゃに関心があり、おもちゃドクターとなって自分の持っている技術や経験を活かしたいと考えている方



お問い合わせ先

鹿児島県社会福祉協議会(長寿社会推進センター) **TEL 099-250-7441 FAX 099-250-7443**
 出水市社会福祉協議会 **TEL 0996-63-2140 FAX 0996-63-8088**
 奄美市社会福祉協議会 **TEL 0997-52-7601 FAX 0997-53-5172**
 指宿市社会福祉協議会 **TEL 0993-22-5543 FAX 0993-22-5543**



受講生代表あいさつ

平成21年度の「高齢者中央大学夏期講座」が開催されました。7月15日(水)7月19日(日)の4泊5日の講座に84歳の最高齢者を含め県内各地から26名が受講しました。

この時期毎年開講している夏期講座は、県内に居住する60歳以上の方で遠隔地などの理由で通年課程の講座を受講できない方を対象に行っています。

開講式では、受講者を代表して徳永善弘氏から受講のいきさつを「昨年絵画教室を受講し、受講生、講師、職員、施設の印象がよかったです。」と述べ、「ここに集まっ



講座風景

た仲間とのふれあいを楽しみながら5日間を過ごし、修了証書をもたらえるようにがんばります。」と力強い言葉がありました。

講座は「薩摩の古代史」「暮らしの中の法律問題」「思い出のメモリー」「脳障害と認知症の予防」「寝たきりにならないために」「つぼと健康」など12講義が設けられました。

受講生は難しい法律問題に頭をひねり、思い出のメモリーでは大きな声で歌い、どれもこれも学生時代に戻ったような気分で楽しく受講されました。

平成21年度
高齢者中央大学夏期講座
26名が受講

参加チーム募集!!

第12回

三代代なのはな
ふれあいゲートボール大会



期日 平成21年11月8日(日)
場所 なのはな館 芝生広場
チーム編成
ジュニア(15歳未満)1名
ミドル(15歳以上60歳未満)2名
シニア(60歳以上)2名
の各世代で編成される32チームを募集

参加料 無料
申し込み・問い合わせ先
鹿児島県ゲートボール協会
鹿児島市鴨池二丁目30-8
TEL 099(803)0973
※各地区ゲートボール協会でも受け付めます。

お問い合わせ先 指宿市東方9300番地1 TEL 0993(27)1221

介護実習・普及センター情報

講座名	日時	内容	場所	受講料等
介護技術特別研修 (口腔ケア)	10月24日(土) 10:00~16:00	口腔ケアと嚥下障害(講義) 口腔ケアと食事介助(実技)	かごしま県民 交流センター	4,000円
訪問介護サービス 提供責任者研修	11月6日(金) 11月7日(土)	サービス提供責任者の役割(講義) 訪問介護計画の作成(演習)	かごしま県民 交流センター	10,000円
介護地域講座 (西之表市)	《1日目》 11月25日(水) 10:50~17:00 《2日目》 11月26日(木) 9:30~15:00	《1日目》 介護保険制度 口腔ケアと食事介助など 《2日目》 認知症高齢者への理解 介護予防など	西之表市保健 センター 「すこやか」	500円
自助具製作教室	11月28日(土) 9:00~12:00	身近な材料でつくる自助具 (講義・実習)	かごしま県民 交流センター	1,000円

◎申込み方法等の詳しいことについては、鹿児島県介護実習・普及センターへお問い合わせ下さい。

お問い合わせ先

鹿児島県介護実習・普及センター
(運営：鹿児島県社会福祉協議会)
〒892-0816 鹿児島市山下町14番50号(かごしま県民交流センター内)

TEL 099-221-6616 FAX 099-239-0384
E-mail kaigo@kagoshima-pac.jp
HPアドレス http://www.kagoshima-pac.jp

10月~12月

介護講座のご案内

九州地区 児童福祉施設 球技大会

九州各県の児童養護施設代表が鹿児島で熱戦を繰り広げる!!

「若葉学園」(軟式野球) **優勝**
 「白百合の寮」(軟式野球) **第3位**
 「大村報徳学園」(バレーボール) **第3位**

55回目となる「九州地区児童福祉施設球技大会」が8月18日から20日までの3日間、九州各県から軟式野球とバレーボールのそれぞれ16チームが鹿児島に集い、真夏の暑い中、熱戦が繰り広げられました。

1日目 試合前日の1日目は県民交流センターに選手・関係者約600人が集い、開会式では、鹿児島県代表の二人が力強く選手宣誓をしました。その後、組合せ抽選会が行われ、対戦相手が決まる度に一喜一憂した光景が見られました。

2,3日目 天候に恵まれた2日間の試合は、どのチームも、選手達が今までの練習の成果を遺憾なく発揮し、コート・グラウンドの中で随所に好セーブ、ファインプレーがあり、期待通りの好ゲームが展開された素晴らしい大会でした。

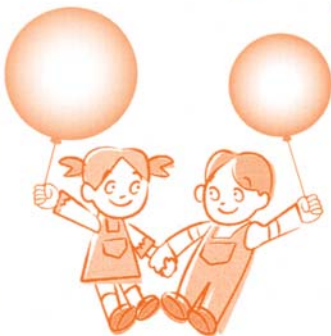
	軟式野球の部	バレーボールの部
優勝	若葉学園(鹿児島県)	藤崎台学園(熊本県)
準優勝	双葉学園(福岡県)	菊水学園(熊本県)
第3位	福岡育児院(福岡県)	大村報徳学園(鹿児島県)
第3位	白百合の寮(鹿児島県)	双葉学園(福岡県)



安心を支えます

ボランティア活動保険

ボランティア活動中のケガや賠償事故を補償



特長

- 活動場所と自宅との往復途上の事故も補償
- 熱中症(日射病・熱射病)による障害も補償
- ボランティア自身の食中毒や特定感染症も補償
- 地震等天災によるケガも補償(天災タイプ加入の場合)

ボランティア行事用保険

地域福祉活動の一環として行うボランティアに関する行事におけるケガや賠償事故を補償!

福祉サービス総合補償

ヘルパー・ケアマネジャー等の活動中のケガや賠償事故を補償!

送迎サービス補償

送迎・移送サービス中の自動車事故等によるケガを補償!

保険料(掛金) | Aプラン...260円 Bプラン...420円 Cプラン...590円
天災危険補償タイプもあります。

お申込み、ご照会は、あなたの地域の社会福祉協議会へ

社会福祉法人
全国社会福祉協議会

この保険は、全国社会福祉協議会が保険会社と一括して契約を行う団体契約です。

取扱代理店 **株式会社 福祉保険サービス**

〒100-0013 東京都千代田区霞が関3丁目3番2号 新霞が関ビル17F

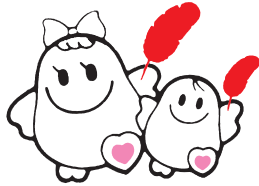
TEL:03(3581)4667 FAX:03(3581)4763

http://www.fukushihoken.co.jp

〈引受幹事保険会社〉日本興亜損害保険株式会社

県共同募金会からの
お知らせ

地域の福祉、みんなで参加



☎ 099 (257) 3750

URL <http://www.minc.ne.jp/akaihane>

皆様の善意に感謝いたします!

赤い羽根共同募金運動が 始まります 10月1日~12月31日

今年も皆様のご協力をお願いいたします



じぶんの町を良くするしくみ。



赤い羽根共同募金

10月1日(木)~12月31日(木)

TEL 099-257-3750

www.akaihane.jp



赤い羽根共同募金運動は、昭和22年にスタートし、今年が63回目を迎えます。これまでお寄せいただきました多くの皆様のご支援ご協力に心から感謝申し上げます。

今年も10月1日から12月31日まで、「地域の福祉、みんなで参加」をスローガンに赤い羽根共同募金運動が全国一斉に展開されます。皆様のあたたかい善意をお寄せくださいますよう、よろしくお願いいたします。

21年度ポスター

■一般募金の配分計画

(単位：千円)

区分	金額	内容
社会福祉協議会活動助成	165,120	
県・郡社協活動事業	7,120	福祉活動の啓発、広報紙発行
市町村社協地域福祉活動事業	158,000	市町村における地域・在宅福祉サービス事業の活動促進
社会福祉施設助成	13,000	
高齢者・児童・障害児(者)等各種施設整備事業	13,000	建物増改築・補修、附帯設備・車両・備品等の整備
社会福祉団体助成	32,000	
福祉団体活動事業	6,500	研修活動、広報紙発行等、福祉団体の活動支援
地域福祉活動支援事業	8,000	地域福祉活動に取り組む団体・グループ等への活動支援
在宅障害児(者)療育の集い	500	在宅障害児(者)療育活動の支援
新安心・安全福祉のまちづくり支援事業	17,000	地域の安心・安全を守り、高めるために自治会等が行う事業の支援
災害見舞金	5,000	火災、その他の災害被災者、遺族への見舞金
次年度運動準備金	25,000	次年度の募金運動準備経費
募金運動推進経費	29,490	募金運動資材購入、各支会分会等運動推進経費
災害等準備金積立金	9,400	大規模災害積立金
合計	279,010	

■歳末たすけあい募金の配分計画

(単位：千円)

区分	金額	内容
地域歳末たすけあい	41,157	地域で支援を必要とする方がたへの金品贈呈、給食・入浴サービス、サロン事業等
NHK歳末たすけあい	8,802	在宅で支援を必要とする方がた、児童福祉施設、グループホーム等へ見舞品贈呈
合計	49,959	

※配分計画が目標額を上回るのは、前年度の繰越金などを配分金に充てるためです。

21年度募金目標額

3億1,700万円

一般募金
2億6,834万円

歳末たすけあい募金
4,866万円

※共同募金の目標額は、事前に社会福祉施設や社会福祉団体・ボランティア団体等からの配分要望や前年度の募金実績等に基づいた配分計画を参考に設定されています。

共同募金会では下記事業の 助成について申請を受け付けます。

事業名	地域福祉活動支援事業	新安心・安全福祉のまちづくり支援事業
助成対象団体	県内で地域福祉活動に取り組む団体・ボランティアグループ等	共同募金活動を実施している町内会等 ※申請の際に必要な要件がありますのでご確認ください。
申請受付窓口	鹿児島県共同募金会	各支会分会(市町村社会福祉協議会内)
申請受付期間	21年10月1日~11月30日	左に同じ
助成決定時期	22年4月	左に同じ
事業実施時期	22年4月~23年3月	左に同じ

※詳しくは県共同募金会または各支会分会(市町村社会福祉協議会内)にお尋ねください。

インフォメーション

information

みなさまのご厚意に感謝いたします。



次の方がたから、寄付金等のご厚意が本会に寄せられました。
ありがとうございました。(平成21年6月～平成21年8月)



○アクサ生命保険株式会社 様
寄付をされる
鹿児島支社長 横関 満正 様(左)



○株式会社江藤建設工業 様
創立30周年で寄付をされ、感謝状を受け
取られる
代表取締役 江藤 正幸 様(左)



○社団法人鹿児島県タクシー協会 様
車椅子を贈呈された
協会会長 羽仁 正次郎 様(中央)と
役員・県社協・さつま町社協の皆様



地上デジタル放送を見るための

お知らせ

簡易なチューナー給付などの支援



総務省では、地上アナログ放送から地上デジタル放送に移行することが難しい世帯に
対する支援を予定しています。

Q1 支援の対象となるのは？

「日本放送協会（NHK）の受信料の全額免除を受けている世帯」が対象です。

（具体的には、生活保護世帯等、市町村民税非課税の障がい者世帯、社会福祉事業施設入所者）

※すでに、地上デジタル放送を視聴されている世帯は支援の対象外です。

Q2 受けられる支援の内容は？

現在お持ちのアナログテレビに取り付ける「簡易なチューナー」の無償給付をします。

アンテナ改修等が必要な場合にはその支援も行います。

Q3 申込み先は？

未定です。決まり次第申込み方法を含めて改めてお知らせします。

Q4 支援の開始の時期は？

平成21年秋以降を予定しています。具体的な日程は改めてお知らせします。

Q5 ご注意いただきたい点

- 支援を受けるには、NHKとの受信契約と全額免除手続きが必要です。
- 支援は現物給付です。御自身で購入したチューナー、アンテナ等を精算することはできません。

お問い合わせ先

支援制度全体について

総務省 地上デジコールセンター TEL 0570-07-0101

NHKとの受信契約
受信料免除について

NHK視聴者コールセンター TEL 0570-07-7077

広報紙「ふくしのひろば」は
本会のホームページでもご覧になれます。

また、お問い合わせは総務部にて受け付けております。

TEL 099(257)3855 FAX 099(251)6779

E-mail soumu4@kaken-shakyo.jp

★この広報紙は、共同募金会の協力を得て発行されています。